

令和

3~4年度

共進化実現プログラム 成果報告会のお知らせ

セッションA・セッションB

第1部 6月2日 [金]

13:00~16:00 (オンライン開催)

セッションC・セッションD

第2部 6月8日 [木]

18:00~20:00 (オンライン開催)

※各15分の発表・質疑対応ののち、セッションごとに25分の討論時間を設けます。

セッションA：6月2日[金] 13:10~14:35

- ① 研究開発プログラムの開発・評価に資するエビデンス構築の研究
代表者：林 隆之 (政策研究大学院大学 教授) & ● 研究開発戦略課 評価・研究開発法人支援室
- ② 児童生徒の心と体の健康の保持増進に向けた教育データの活用
代表者：川上 浩司 (京都大学 教授) & ● 健康・食育課
- ③ イノベーション・エコシステムのハブ拠点が有する自立性・持続可能性の要件に関する調査研究
代表者：永田 晃也 (九州大学 教授) & ● 産業連携・地域支援課
- ④ 我が国の大学等による宇宙分野の人材育成支援活動のための国内枠組みと展開可能性
代表者：Verspieren Quentin (東京大学 特任講師) & ● 宇宙開発利用課

セッションB：6月2日[金] 14:45~15:50

- ⑤ レジリエントな産学連携とイノベーション・システムのためのエビデンスの収集と分析
代表者：隅藏 康一 (政策研究大学院大学 教授) & ● 産業連携・地域振興課
- ⑥ 科学技術・イノベーション政策の経済社会効果分析の政策形成プロセスへの実装
代表者：池内 健太 (政策研究大学院大学 SciREXセンター 特任フェロー) & ● 研究開発戦略課
- ⑦ 「将来社会」を見据えた研究開発戦略の策定における官・学の共創
代表者：平川 秀幸 (大阪大学 教授) & ● 研究開発戦略課 戦略研究推進室

セッションC：6月8日[木] 18:10~18:55

- ⑧ 我が国の宇宙デブリ関連の国際ルール形成・標準化のための官民連携に関する研究
代表者：鈴木 一人 (東京大学 教授) & ● 宇宙開発利用課
- ⑨ 博士等に関する情報基盤の充実・強化及び人材政策と大学院教育の改革に向けた事例研究
発表者：渡邊 英一郎 (科学技術・学術政策研究所 総括上席研究官) & ● 人材政策課

セッションD：6月8日[木] 19:05~19:50

- ⑩ 自然科学と文化芸術、人文学・社会科学の多様な連携の社会的価値の可視化と実践的手法
代表者：城山 英明 (東京大学公共政策大学院 教授) & ● 大臣官房政策課 政策推進室
- ⑪ 新型コロナウイルス感染症による暮らしへの影響分析ーオントロジー工学による接近
代表者：諸賀 加奈 (九州大学 客員助教) & ● 高等教育企画課


参加を希望される方は、以下のリンクより登録をお願いします。

令和5年5月31日 (水) 17時まで

<https://forms.office.com/r/mnCH5suEtr>

接続方法等の詳細はご登録のメールアドレスへ成果報告会当日までに連絡します。



SciREX Center  文部科学省

問い合わせ

文部科学省 研究開発戦略課政策科学推進室：kagkeik@mext.go.jp
政策研究大学院大学 SciREXセンター：scirex-ev-ml@grips.ac.jp

 SciREX

サイレックス事業

本事業は、以下の取組などを通して、エビデンスに基づく科学技術・イノベーション政策の推進に寄与することを目的としています。

- ① 科学技術・イノベーション政策に関する実務・研究に携わる人材の育成
- ② 政策形成に資する研究の推進
- ③ 研究コミュニティの形成

SciREX

サイレックス事業

科学技術イノベーション政策における「政策のための科学」推進事業

SciREX(サイレックス)事業とは

SciREXとは「Science for RE-designing Science Technology and Innovation Policy」を意味しており、①科学技術・イノベーション政策についての実務や研究に携わる人材の育成、②科学技術・イノベーション政策形成に生きる研究の推進、③研究コミュニティの形成などの①～③を通して、科学的根拠に基づく科学技術イノベーション政策の拡大を目的とした事業です。

科学の政策？ 政策を科学しよう！

事業のしくみ

人をそだてる



「政策のための科学」を広げるためには、将来の担い手を育成することが大切です。

SciREX事業では、**6つの大学が5つの拠点**を形成し、サマーキャンプやシンポジウムの開催などを通してそれぞれが協力しながら、世界に比肩する、大学院における**人材育成プログラム**を提供しています。

一緒にかんがえる (研究者×行政官)



政策に生きる研究の実現や、EBPM※の展開には、共に進化するという意味で、研究者・行政官双方の「共進化」が不可欠です。

SciREX事業では、**研究者と行政官が課題設定の段階から協働**し、政策への活用までを目指す**共進化実現プロジェクト**を推進しています。

関係者をつなぐ (ネットワーキング)



事業の成果を現場に届けるためには、関係者同士の継続的な連携が重要です。

SciREX事業では、**アウトリーチ活動を積極的に実施**するとともに、**ワークショップやセミナー、シンポジウム**などを通して、科学技術・イノベーション政策に関する政策科学の**学術コミュニティを構築し、人と人とのつながりを広げています**。

現在地

SciREX事業開始
(平成23年)

拠点活動
第3期開始
(令和3年)

令和5年 **NOW**

共進化第Ⅰフェーズ

共進化第Ⅱフェーズ

共進化第Ⅲフェーズ

詳しい情報は**SciREX事業ポータルサイト**へ！ ▶ <https://scirex.grips.ac.jp/>

